

◆情報発信『福祉のまちづくりパネル展』



今年始めに、本庁1階にて
「福祉のまちづくりパネル展」を開催しました。
福祉のまちづくりに関する情報を
少しでも発信できればと思っております。



福祉新聞

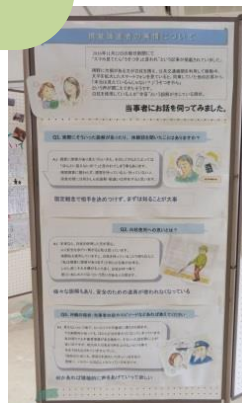
◆子ども向けセミナーを受講した小学校から3校にご協力頂き福祉新聞を作成してもらいました。

セミナーの内容と
独自に調べ学習した
内容などを合わせ、
綺麗にまとめられて
いました。
来庁した市民の皆様も
足を止めて見入っていま
した。



インタビュー記事

◆視覚に障害をお持ちの方の普通の生活の中での
困りごとや、さまざまな
誤解が生じている現状に
ついて、当事者にお話を
伺いました。
実は、点字が扱える人は
少ない事。
中途の視覚障害をお持ち
の方は、白杖を使用する
事に抵抗がある方が多い
事など。普段聴けないお
話を沢山伺えました。



福祉用具や工夫などの紹介

◆工夫が施されている日用品の紹介も行いました。
シャンプーのしるしが付いているのは有名な話ですが、
その他にも探してみると身近なものにも
さまざまな工夫がされているようです。

◆本庁1階の見取り図の模型を設置。来庁者の方に
思い思いに点字ブロックを置いてみてもらいました。



バリアフリーでみんなが笑顔のまちづくり

那覇市では『福祉のまちづくり条例』のもと、すべての市民が住みなれた地域で
安心して暮らすことができるよう、さまざまなバリアを取り除く第一歩として
『心のバリアフリー』を推進する取組を行っています



【 今号の内容 】

- ☆小学生向けセミナー
- ★大人向けセミナー
- ☆福祉のまちづくりパネル展
- ★那覇市からのお願い・お知らせ

◆子ども向けセミナー『心のバリアフリーセミナー』

毎年、那覇市内の小学校を対象に子ども向けセミナーを行っております。
講師の金城理佳さんを招いて、子ども達と一緒に疑似体験などを通して
お年寄りや障がいを持った方の気持ちや、何のお手伝いができるだろうと、一緒に考えています。



こんにちは！
金城理佳です。
今日はみんなで
一緒に体験して
いっぱい「発見」
しましょう～



実は・・・
白内障の方は
黄色い文字が
見えづらいのです

立入
禁止



車イス利用者へお手伝い
無理しないで、大人の人を呼んだり
本人に聞いてみるのも大切です



アイマスク体験
「段差がありますよ」
「道が細くなります」
たくさんの声で情報を伝えて
案内します。



◆おとな向けセミナー『サービス介助セミナー』



那覇市在住・在勤の方が対象です。
今回の参加者みなさんが接客業の方でした。
来店される方の気持ちに寄り添い、少しでも気持ちよく
過ごしてもらいたいという思いから参加されている
方がほとんどでした。
セミナー後には、この経験をすぐにでも活かしたいと
いう声がたくさん聴けました。
福祉のまちづくりの一步として、同じ気持ちの方が一
人でも増えることを願っています。



お願い!!

点字ブロックの上に車や自転車、物を置かないでください。
視覚に不安のある方が一人で外出する時には、点字ブロックや周りの音など全てに注意を払います。
弱視（少し見える方）全盲（全く見えない方）視野狭窄（一部が見えない）など症状は様々です。
位置確認や方向確認等に点字ブロックを使いますので、安全に利用できるようご協力をよろしく
お願いします。

那覇市からのお知らせ

『バリアフリー改装補助事業』
を実施します♪

那覇市では、市内の店舗を対象に、トイレの
洋式化や手すり・スロープの設置などバリアフ
リー改装工事の一部を補助します。詳しくは下
記委託先へお問い合わせください。

委託先：那覇国際通りしょうがい者・こうれい
者観光案内所
（バリアフリーネットワーク会議）
電話 098-860-8046/Fax098-860-8434

突然ですが・・・

～ 福まちクイズ ～

ほじょ犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）について

Q：次のうち『ほじょ犬と一緒にできる事』は何？

- ①職場へ出勤すること
- ②旅行に行きホテルに宿泊
- ③レストラン・ステーキハウスに行く

答えは裏面にて・・・

◆小学校対象『障がい当事者講話』



さつき小学校では、全盲の金城彩花さんをお招きし、お話を伺いました。
視覚に障がいがある方が普段どのように過ごしているか、使用している便
利な道具などを紹介しながら、時には子ども達に質問を投げかけ答えても
らい、お話しされていました。
最後の質問タイムでは、「スマホでゲームできますか？」「声でじゃんけん
はできますか？」という質問が上がったり、講話が終わり彩花さんが帰ら
れる際は、玄関まで見送りに来る子ども達もいました。

